

秋田県心身障害者コロニーあり方検討会の検討状況について

秋田県健康福祉部障害福祉課

1 検討会設置目的

入所者の高齢化や障害の重度化が進む中、安定的で継続的な障害支援サービスの提供を行う上で、様々な課題へ対応していく必要があり、多様な視点から、コロニーの今後のあり方を検討する。

2 施設概要

- 開設 昭和46年5月
(由利本荘市西目町出戸字孫七山3番地2)
- 面積 敷地1,139,211㎡、
建物(延べ) 34,470㎡
(うち居住棟(7棟) 18,792㎡)
- 平成4～11年改築
- 運営 社会福祉法人秋田県社会福祉事業団
(施設は県無償貸付(R3.4～R8.3月))
(5年更新)
- 定員 施設入所支援340人、生活介護350人
就労継続支援B型60人、短期入所5人

3 課題

- 施設・設備の老朽化による大規模修繕
- 施設入所者の減少
- 設立当初の大規模施設を維持するための多額のランニングコスト
- 重度障害者や高齢障害者に対する支援体制の充実
- 立地状況に伴う課題
 - 交通インフラ、冬季の除雪、緊急・災害時対応に係る管理
 - 施設入所者の地域医療の利便性や地域活動への参加に支障
 - 施設職員の確保

4 検討状況

(1) 検討経緯

- 令和5年4月6月～ あり方検討会設置検討会を5回開催
- コロニーの現状と課題
 - 求められる役割と機能
 - 地域移行の進め方等
 - 再編整備の方向性
- 令和6年2月 2月議会(福祉環境委員会)で検討状況を報告
- 3月 報告書(成案)

(2) 検討結果(報告書概要)

- i) 入所機能と地域移行の推進について
- 入所機能を維持した上で、入所者と家族の意向を尊重しながら、日常生活や地域社会参加を推進する
 - 県内の知的障害者支援の中核的施設として、重度知的に対し、集中的に支援する必要がある場合の一時的受け入れを実施する
 - 医療的ケアや強度行動障害を有する者への支援ニーズに適切に対応するため、他の民間施設や高齢者施設、医療機関との連携促進を図る

ii) 再編整備の考え方<別紙参照>

a) 基本的な考え方

- 利用者へより良い環境の提供と県内知的障害者支援の中核的施設としての役割を担う

b) 施設整備のコンセプト

- 現利用者の入所の維持、自立生活支援、高齢化・重度化への対応、社会資源等との連携強化

c) 施設整備の方向性と配慮を要する点

- ① 施設機能：入所者の障害重度化、高齢化や県全域の重度障害に対応することを検討
- ② 整備場所：市街地への移転改築を検討
- ③ 整備形態：分散設置を検討

iii) 今後、求められる役割・機能<別紙参照>

a) 基本的な機能

- ① 日中活動サービス及び短期入所の提供
- ② 施設入所支援サービスの提供

b) 新たな役割・機能

- ① 重度障害者のセーフティネット(施設入所支援機能)
- ② 他の障害者支援施設等のバックアップ(地域生活支援拠点等機能)
- ③ 社会資源のコーディネート(重度障害者の技術支援拠点等機能)